

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	ゼミナールⅣ（Seminar Ⅳ）		
ナンバリングコード	E41204	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 総合レベル ゼミナール
単位数	4	配当学年 / 開講期	4 年 / 通年
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E002708	クラス名	森田ゼミ
担当教員名	森田 和子		
履修上の注意、 履修条件	財政学・公共経済学の講義のいずれかをすでに履修していること。 自ら計画を立て、自主的に研究することが必要です。		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書	テーマに沿った文献は自分で探します。インターネットの場合は、内容の信憑性を見極めることが必要です。		
関連科目	財政学、公共経済学、地方財政論、社会保障論など		

○基本情報		
授業の目的	卒業論文の作成を通じて、構想力・情報収集力・分析力・論述力・発表力を養うことを目的とします。	
授業の概要	ゼミナールⅣはゼミ論文をまとめるための研究指導の時間となります。つまり、これまでの受身の勉強から、自ら考え、まとめていく過程を学んでもらいます。したがって各自で資料をもちより発表してもらい、全体で討論し意見交換するなどが主な活動となります。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「PBL(課題解決型学習)」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	個人で研究する場合も共同で研究する場合も自主的に研究する姿勢を評価する。発表や提出の期日を守り、他のメンバー、グループの発表もよく聞いて相互に学びあうこと。		20点	
【知識・理解】	大分県・大分市のを含む地域の課題について理解し、財政および公共部門の今後の役割を考える。		20点	
【技能・表現・コミュニケーション】	ワープロでの論文作成に慣れ、パワーポイントで要旨を発表できる。		10点	20点
【思考・判断・創造】	参考文献によりながらオリジナルなテーマ設定をし、地域の課題と対策を含めた具体的な内容の構成を考える。		30点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
中間報告を行い指導を受けたのち、完成した論文を提出する。 パワーポイントをもちいたわかりやすいゼミ論発表会での発表。 S評価: 自ら設定したテーマについて深く探求し、論文、発表資料を作成できる。卒業研究発表会に参加し、わかりやすい発表をする。 A評価: 自ら設定したテーマについて詳しく調べ、内容のある論文、発表資料を作成できる。 B評価: 設定したテーマについて指導にもとづいて調べることが出来、論文、発表資料を作成できる。 C評価: 指導にもとづいてテーマを設定し、調べた内容を論文、発表資料のかたちにまとめることができる。 課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名 担当教員	ゼミナールⅣ（Seminar Ⅳ） 森田 和子	授業コード	E002708
学修内容					
1. 前期 第1回 オリエンテーション。4年ゼミの年間計画。 研究倫理教育 卒業研究をおこなうときの心得。					
予習	学修自己評価シートに記入し持参する。				約2時間
復習	研究活動をするときに守らなければならないことについて復習する。				約2時間
2. 第2回 ゼミ論文の説明。テーマ設定、構成など。					
予習	研究したいテーマについて考えておく。				約2時間
復習	論文の基本的な構成と参考文献について理解する。				約2時間
3. 第3回 基礎演習（1） 資料講読と内容把握 最近の財政・公共経済の課題についてプリントを配布。重要箇所の講義。					
予習	研究したいテーマについて調べてみる。				約2時間
復習	資料の探し方、読み方を復習する。				約2時間
4. 第4回 基礎演習（2） 資料講読と内容把握 最近の財政・公共経済の課題についてプリントを配布。重要箇所の講義。					
予習	研究したいテーマについて調べてみる。				約2時間
復習	資料の探し方、読み方を復習する。				約2時間
5. 第5回 基礎演習（3） 資料講読と内容把握 最近の財政・公共経済の課題についてプリントを配布。重要箇所の講義。					
予習	研究したいテーマについて調べてみる。				約2時間
復習	資料の探し方、読み方を復習する。				約2時間
6. 第6回 基礎演習（4） 資料講読と内容把握 最近の財政・公共経済の課題についてプリントを配布。重要箇所の講義。					
予習	研究したいテーマについて調べてみる。				約2時間
復習	資料の探し方、読み方を復習する。				約2時間
7. 第7回 基礎演習（5） 資料講読と内容把握 最近の財政・公共経済の課題についてプリントを配布。重要箇所の講義。					
予習	研究したいテーマについて調べてみる。				約2時間
復習	資料の探し方、読み方を復習する。				約2時間
8. 第8回 基礎演習（6） まとめ。資料の要旨を発表 これまでのプリントから要旨の発表練習をする。					
予習	研究したいテーマについて調べてみる。				約2時間
復習	プレゼンテーションの基本を復習する。				約2時間

○授業計画		科目名	ゼミナールⅣ（Seminar Ⅳ）	授業コード	E002708
		担当教員	森田 和子		
学修内容					
9.					
第9回 論文作成講座（1） テーマ設定と参考文献 研究したい分野からテーマを選び、関連事項を書いてみる。テーマに関する参考文献の有無を調べる。					
予習		研究したいテーマに関する資料に目を通しておく。			約2時間
復習		テーマの設定の仕方、参考文献の使い方を復習する。			約2時間
10.					
第10回 論文作成講座（2） 資料の種類と収集方法 研究資料となりうる文献の選び方と資料収集の方法の説明。					
予習		研究したいテーマに関する資料に目を通しておく。			約2時間
復習		実際に各自のテーマに関する参考文献を集めてみる。			約2時間
11.					
第11回 論文作成講座（3） 章の構成を考える わかりやすい論文の基本的な構成について学ぶ。					
予習		研究したいテーマに関する資料に目を通しておく。			約2時間
復習		各自の研究テーマの構成を考えてみる。次回にそのレジュメを提出。			約2時間
12.					
第12回 論文作成講座（4） 章の構成の修正 研究を深めることにより、章の順序を入れ替えたり、1つの章にまとめた方がよいところなどをみつけていく。					
予習		各自の研究テーマの構成をレジュメにまとめる。			約2時間
復習		これから研究を進める方向を考える。			約2時間
13.					
第13回 論文作成講座（5） 注と参考文献の書き方 注をつけることの大切さと参考文献の書き方の復習。					
予習		研究したいテーマに関する資料に目を通しておく。			約2時間
復習		参考文献一覧をつくってみる。			約2時間
14.					
第14回 論文作成講座（6） 実際に資料からアウトラインを書く 論文全体のレジュメとパワーポイント作成の準備。					
予習		研究したいテーマに関する資料に目を通しておく。			約2時間
復習		研究要旨を書いてみる。			約2時間
15.					
第15回 論文のテーマと要旨の発表。グループ分け。					
予習		各自で選んだテーマについて短いレジュメを作成し、持参する。			約2時間
復習		夏休み中に検討すべきところを確認する。			約2時間
16.					
予習					
復習					

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名	ゼミナールⅣ（SeminarⅣ）	授業コード	E002708
		担当教員	森田 和子		
学修内容					
17.					
後期 第1回 論文のテーマの確認と中間報告について。これまでの研究内容とテーマの妥当性について個別に確認する。					
予習	後期学修自己評価シートの記入と各自の研究報告要旨を作成し、持参する。				約2時間
復習	ゼミでのアドバイにしたがって報告要旨を見直し、修正する。次回の報告担当者は、パワーポイント資料を				約2時間
18.					
後期 第2回 中間報告（1） 担当者は、作成したパワーポイント資料をもとに卒業研究の概要について中間報告を行う。全体での質疑応答。今後の進め方と内容についてコメント。					
予習	自分の発表当日までに、できるところまで報告資料を作っておく。				約2時間
復習	今回報告した人は、コメントに基づいて内容を加筆、修正する。				約2時間
19.					
後期 第3回 中間報告（2） 担当者は、作成したパワーポイント資料をもとに卒業研究の概要について中間報告を行う。全体での質疑応答。今後の進め方と内容についてのコメント。					
予習	自分の発表当日までに、できるところまで報告資料を作っておく。				約2時間
復習	今回報告した人は、コメントに基づいて内容を加筆、修正する。				約2時間
20.					
後期 第4回 中間報告（3） 担当者は、作成したパワーポイント資料をもとに卒業研究の概要について中間報告を行う。全体での質疑応答。今後の進め方と内容についてのコメント。					
予習	自分の発表当日までに、できるところまで報告資料を作っておく。				約2時間
復習	今回報告した人は、コメントに基づいて内容を加筆、修正する。				約2時間
21.					
後期 第5回 中間報告（4） 担当者は、作成したパワーポイント資料をもとに卒業研究の概要について中間報告を行う。全体での質疑応答。今後の進め方と内容についてのコメント。					
予習	自分の発表当日までに、できるところまで報告資料を作っておく。				約2時間
復習	今回報告した人は、コメントに基づいて内容を加筆、修正する。				約2時間
22.					
後期 第6回 中間報告（5） 担当者は、作成したパワーポイント資料をもとに卒業研究の概要について中間報告を行う。全体での質疑応答。今後の進め方と内容についてのコメント。					
予習	自分の発表当日までに、できるところまで報告資料を作っておく。				約2時間
復習	今回報告した人は、コメントに基づいて内容を加筆、修正する。				約2時間
23.					
後期 第7回 プレゼンテーション（1） 卒業研究発表会にむけたプレゼンテーションのリハーサルを3回にわけて行う。担当者は、作成したパワーポイント資料をもとに本番を想定した発表を行う。全体での質疑応答。					
予習	自分の発表当日までに、資料を作っておく。				約2時間
復習	今回発表した人は、本番までにコメントに基づいた発表練習を各自で行う。				約2時間
24.					
後期 第8回 プレゼンテーション（2） 卒業研究発表会にむけたプレゼンテーションのリハーサル。担当者は、作成したパワーポイント資料をもとに本番を想定した発表を行う。全体での質疑応答。					
予習	自分の発表当日までに、資料を作っておく。				約2時間
復習	今回発表した人は、本番までにコメントに基づいた発表練習を各自で行う。				約2時間

○授業計画		科目名 担当教員	ゼミナールⅣ（Seminar Ⅳ） 森田 和子	授業コード	E002708
学修内容					
25. 後期 第9回 プレゼンテーション(3) 卒業研究発表会に向けたプレゼンテーションのリハーサル。担当者は、作成したパワーポイント資料をもとに本番を想定した発表を行う。全体での質疑応答。					
予習		自分の発表当日までに、資料を作っておく。			約2時間
復習		今回発表した人は、本番までにコメントに基づいた発表練習を各自で行う。			約2時間
26. 後期 第10・11回 卒業研究発表会 プログラムに沿って卒業研究の発表を行う。全体での質疑応答。他のゼミの発表を聞き、どのようなところが良かったか考える。(卒業研究発表会は、通常、2コマの時間を使って行われる。)					
予習		本番でわかりやすい発表が時間内でできるように練習を重ねる。			約2時間
復習		発表した時にでた質問や課題をふまえて修正箇所がないか確認する。			約2時間
27. 後期 第12回 論文の完成と提出 発表会の後は、論文を完成させ、期限までの提出をめざします。表紙、目次、本文、各章の注、参考文献の順にとじて提出します。					
予習		各自で論文の完成をめざした執筆を進める。			約2時間
復習		わからないところがある時は質問し、それをもとに改良を重ねる。			約2時間
28. 後期 第13回 論文の完成と提出 発表会の後は、論文を完成させ、期限までの提出をめざします。表紙、目次、本文、各章の注、参考文献の順にとじて提出します。					
予習		各自で論文の完成をめざした執筆を進める。			約2時間
復習		わからないところがある時は質問し、それをもとに改良を重ねる。			約2時間
29. 後期 第14回 論文の完成と提出 発表会の後は、論文を完成させ、期限までの提出をめざします。表紙、目次、本文、各章の注、参考文献の順にとじて提出します。					
予習		各自で論文の完成をめざした執筆を進める。			約2時間
復習		わからないところがある時は質問し、それをもとに改良を重ねる。			約2時間
30. 後期 第15回 論文の完成と提出 発表会の後は、論文を完成させ、期限までの提出をめざします。表紙、目次、本文、各章の注、参考文献の順にとじて提出します。					
予習		各自で論文の完成をめざした執筆を進める。			約2時間
復習		わからないところがある時は質問し、それをもとに改良を重ねる。			約2時間
31.					
予習					約2時間
復習					約2時間
32.					
予習					約2時間
復習					